「詣でる つかる 頂きます」

開山千四百年の月山・羽黒山・湯殿山を巡る「生まれかわりの旅」は、 江戸時代に「出羽三山詣」として庶民の間で流行しました。

出羽三山の旅は、「精進潔斎」して生まれかわり、下山後は、温泉につかって俗世に戻り、地酒や旬の食材、海の幸を頂く「精進落とし」の流儀を楽しみました。

「詣でる つかる 頂きます」は、寺社仏閣を詣で、大地の恵みに感謝して頂くリフレッシュの旅。日本古来の自然と信仰のご縁を今に伝える「鶴岡の旅」の新しい提案です。

(一般社団法人 DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー)

中にマスクを挟んでご利用下さい。

ご使用後の【マスク休憩紙】は廃棄いたします。

山折り

まるまかではマスケの着用をお願い致します。

